

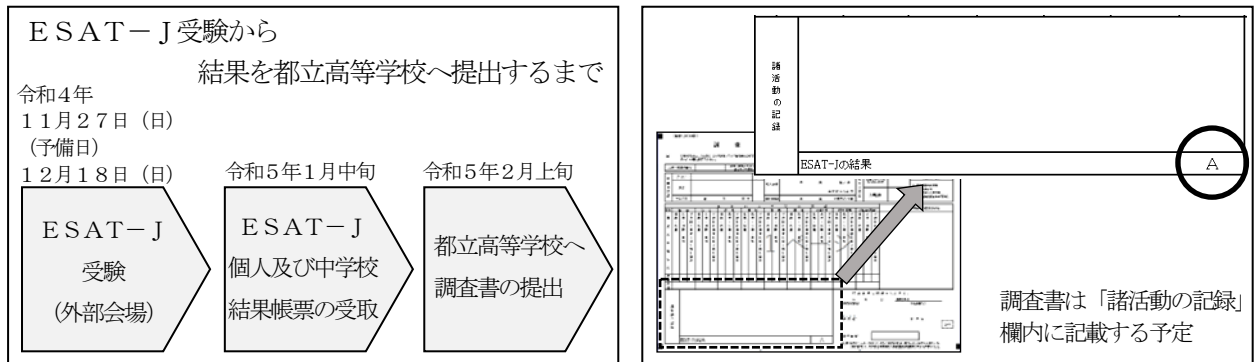
東京都中学校英語スピーキングテスト（ESAT-J）結果の 東京都立高等学校入学者選抜への活用について

東京都立高等学校入学者選抜において、英語4技能を評価して義務教育の学習の成果を的確にみるため、東京都中学校英語スピーキングテスト（ESAT-J）結果を、令和5年度入学者選抜（令和4年度実施）から活用することとする（令和4年9月の策定予定である「令和5年度東京都立高等学校入学者選抜実施要綱」で正式決定となる。）。

1 ESAT-J結果の都立高等学校への提出について

中学校は、ESAT-J結果として提供を受けた6段階の評価を、生徒の調査書に記載する。調査書は、生徒の志願先の都立高等学校へ提出する。

※ ESAT-J結果を調査書に記載して提出するのは、第一次募集・分割前期募集以降の選抜とする。



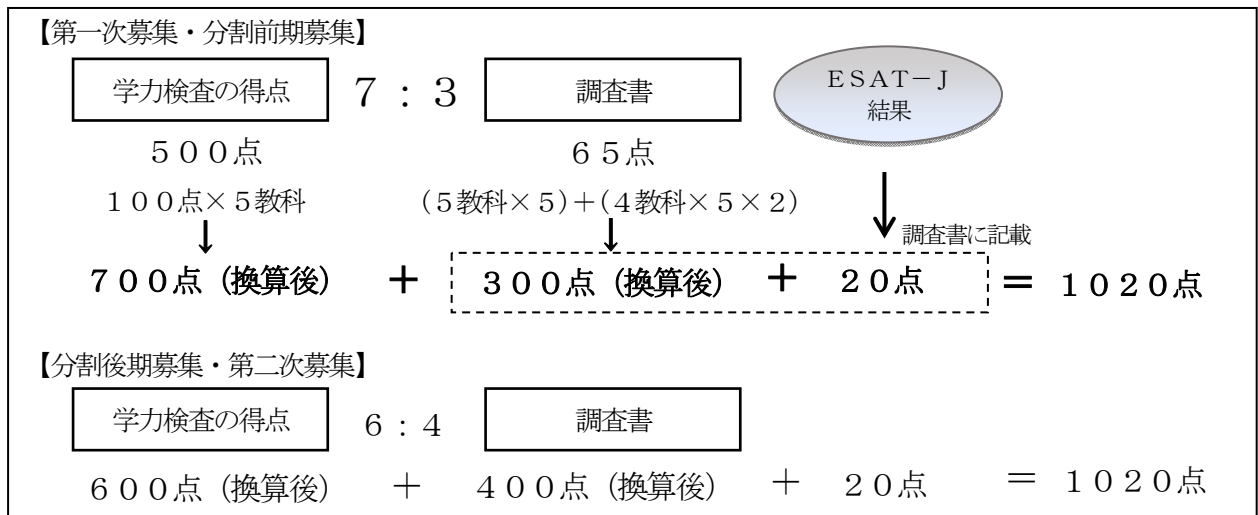
2 評価の点数化について

都立高等学校では、AからFまでの6段階で提出された評価を、次のとおり、20点満点の点数として取り扱う。

ESAT-J結果（評価）	A	B	C	D	E	F
都立高等学校で取り扱う点数	20点	16点	12点	8点	4点	0点

3 総合得点への加算について

都立高等学校では、学力検査の得点と調査書の合計（1000点満点）にESAT-J結果の点数を加え、総合得点を算出する。



※ ESAT-J不受験者も東京都立高等学校入学者選抜において不利にならないように取り扱う。

（当該不受験者の学力検査の英語の得点から、仮の「ESAT-Jの結果」を求め、総合得点に加算する。）